

# 大西一史が目指すもの ～ 政令指定都市として、第2ステージへ～

## 1. 暮らしに安心と潤いを

### 〔子育て支援・教育の充実〕

未来を担う子どもたちは本市の宝であり、子どもたちが健やかに成長できるよう環境づくりを行うことが重要です。そこで、現在の小学3年生までの医療費助成を段階的に引き上げるなど、子育て家庭に対する支援の充実を図ります。また、認可保育所の定員増や、小規模保育など保育サービスの充実により、実質的な「待機児童ゼロ」を目指します。

教育の分野では、放課後、土曜日、夏休みなどを利用した補習授業で基礎学力の向上や、英語教育など時代の変化に対応した教育内容の充実など、教育環境の向上を図ります。

### 〔健康福祉・高齢福祉の充実〕

高齢化が進み、医療費や介護費の増大が深刻な社会問題となっています。医療費を削減するためには、病気の早期発見と早期治療が重要です。そのために、健康診断の内容の充実や、費用の面から市民の皆さんが検診を受けやすい環境を整えます。

また、要介護認定の迅速化、介護人材の育成・確保の支援など、介護サービスの向上に取り組むとともに、地域の絆を生かした支援や民間と提携した見守りサービスなど、行政の枠を超えた支援策を講じていきます。

障がい者福祉については、障がいがあってもなくても誰もが暮らしやすいまちを実現するため、障がいのある方のニーズを共に探り、就職・就業支援体制などを強化していきます。

### 〔「いのち」を大切に政治〕

「いのち」の尊さを子どもたちに伝えるために、未成年の性教育・命を守る教育を充実させていきます。また、「こうのとりのゆりかご」については、熊本だけで抱えるべき問題ではありません。全国的な相談体制の強化なども含め法整備を進めるよう、国に働きかけていきます。

## 2. 地域に優しさと触れ合いを

### 〔安全・安心な地域環境の整備〕

市民の皆さんが安心して暮らすためには、防犯・防災はとても重要です。犯罪を未然に防ぐため、街灯・防犯灯の整備を進めるほか、小中学校などへの防犯カメラの設置など、防犯対策を強化していきます。

防災については、地域、家族ぐるみで取り組んでいく必要があります。普段から市民一人ひとりが災害時の行動を体感できるよう、職場や家庭での避難訓練の実施を進めていくほか、災害発生時の対策について、ハザードマップ<sup>(※1)</sup>の改善など、市民の皆さんと共に見直しを行っていきます。

※1 災害発生時の被害を予測し、被害範囲や避難場所を地図化したもの

### 〔地域の文化活動の支援〕

区のまちづくり事業を積極的に進めるためには、皆さんの協力は必要不可欠です。地域からまちを盛り上げるために、地元の祭りや伝統行事、住民による文化財保護などの地域の文化活動への支援を進めていきます。

## 3. 「チーム熊本」で活力と勢いを

### 〔経済の活性化〕

人口減少が進む日本で、本市への定住促進を進めるためには、熊本に住み、熊本で働く環境を整える必要があります。そのために、企業誘致による雇用の創出を通じた就職・就業支援策を推進していきます。

また、農業などは従事者の高齢化による担い手の減少が問題となっていますが、安定的持続的に良質な農産物などを提供できるよう、後継者の継続的支援や、農業基盤の整備など市の支援を強化します。

### 〔交通・インフラの整備〕

本市は全国でも有数の渋滞都市と言われており、通勤・通学時に渋滞を実感される方も多いと思います。そこで、主要交差点の改良やスマートインターチェンジ<sup>(※2)</sup>の早期実現など、道路交通を徹底的に見直し渋滞の緩和を図ります。

また、現在市電の利用者数の増加などから、電停で待っている乗客を一度で乗車させることができないケースも出てきています。その改善も踏まえ、交通網を再編し、公共交通の利便性を向上させ利用を促進することで、交通量そのものを減らす対策を検討していきます。

※2 高速道路の本線やサービスエリアなどから簡易に乗り降りができるように、通行可能な車両をETC搭載車に限定したインターチェンジ

### 〔歴史・文化の継承発展と観光の振興〕

本市には歴史や文化を学ぶ施設が多くあり、その中心はやはり熊本城です。熊本城内の整備に加え、城下町としての街並み再生を進め、熊本城と市街地の一体感を高めていきます。また、「水の都」の象徴である、江津湖や水前寺成趣園などを一体的に整備し、観光客の増加と市民の憩いの場の創出を図ります。

そして、Wi-Fiスポット<sup>(※3)</sup>を拡大するなど、外国人も含めた観光客の利便性を向上させることで、一度来た人が再び訪れたいと思う観光戦略を推し進めていきます。

※3 公衆無線インターネット接続サービス

## 4. この政策を実現するために

### 〔市役所のマネジメント体制の強化・行政改革〕

これまで挙げてきたさまざまな政策を実現するためには、市民の皆さんに信頼される市政運営が不可欠です。部局の縦割りを超え市長直轄の局を設置し、トップマネジメントを確立します。

また、政令指定都市として権限増加を考慮しながら組織体制を見直し、可能な限りの職員数の削減を図ります。

### 桜町再開発事業について

近年、新市街、下通、上通の人通りは減少の一途をたどっており、この10年で約半分に減っています。中心市街地を活性化させ、交流人口を増加させるためにも、桜町地区の再開発事業は必要だと考えています。ただし、現在のMICE施設計画には、施設規模や用途など、いくつかの課題も指摘されています。現行計画を厳しく精査し、市民の皆さんにオープンな説明をしたうえで、多くの人が納得できる施設を整備していく必要があると考えています。

——— これらは公約の項目の一部です ———



**市外、県外へ積極的に観光PRを**

熊本市のすばらしい観光地を積極的に市外・県外の人にPRしてほしいです。そして、多くの人に来てもらうために、観光地へのアクセスをよくしてほしいですね。

(永井 優梨奈さん〈学生〉東区)



**交通渋滞の緩和を**

職場まで自家用車で通勤していますが、毎朝渋滞でとても時間がかかります。公共交通機関での通勤も考えましたが、本数は少なく所要時間も今以上に上にかかるため、自家用車で通わざるを得ません。職場から離れた地域に住む市民も通勤しやすくなると良いですね。


(平野 良孝さん〈会社員〉北区)



**外国人にも暮らしやすいまちへ**

熊本はとても親切なばかりで、大好きなまちです。また、国際交流会館は日本語が分からない外国人にとっても有意義な施設なので、もっと多くの人に活用してもらえようような施設になると良いですね。

(林 麗梅さん〈主婦〉東区)



**誰もが安心して暮らせるまちを**

年々増えている観光客や市民、誰もが安心して暮らせるまちづくりをしてほしいですね。また、水の都、森の都と言われるように、すばらしい熊本の自然を残しながら、発展させていってほしいです。

(森 久一郎さん〈自営業〉中央区)